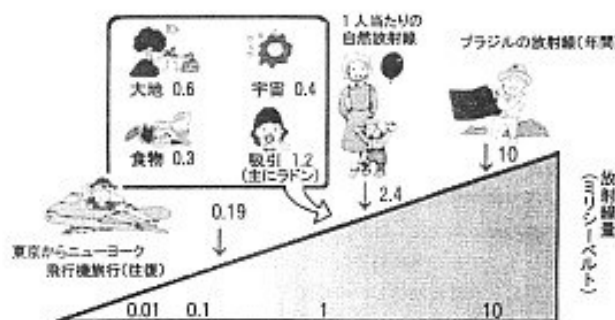


(4) 日常生活での放射線

放射線には、もともと自然界に存在しているものと人工的に作られたものがあり、どちらも性質は同じです。自然界の中には、宇宙や大地・食物などからの放射線があります。人工放射線は、レントゲン検査など医療分野で利用されており、私たちは、様々な放射線や放射性物質の中で生活しています。



【引用:資源エネルギー庁 原子力2002】

地球にはウランやトリウムなど約70種の放射性元素が存在しており、大地や食物から、さらに宇宙からの放射線を浴びています。

産業分野でも利用される放射線

放射線は、技術の発展とともに様々な分野で利用されており、現在では私たちの生活に役立っています。

- 工業…タイヤやプラスチック加工、飛行機の機体検査など
- 農業…ジャガイモなどの発芽抑制、稲の品種改良など
- 自然科学…化学分析、蛋白質の分析など
- 医療…血液への照射、医療器具の滅菌、X線検査、CTスキャンなど
- 人文科学…出土品の年代測定、美術品の研究など



(5) 被ばくについて

放射線を受けることを「被ばく」といい、大量に被ばくをすると、身体に悪影響があります。

悪影響には、すぐに症状が出るものと、時間が経過してから出るものがあります。前者には皮膚のただれ・脱毛・不妊、後者にはガンや白内障などがあるといわれています。

原子力災害が発生した場合、この被ばくから身を守る基本的な方法は、「廻れる(避難)」「さえぎる(屋内にいる)」ことです。